

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	KINETIC GOLD	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール： KINETIC GOLD

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離 インチ

5 インチ

4in1/2 MB

比較対照ボール： HX05

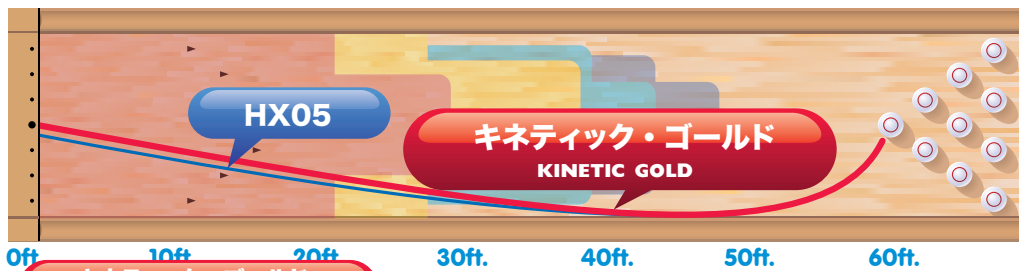
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

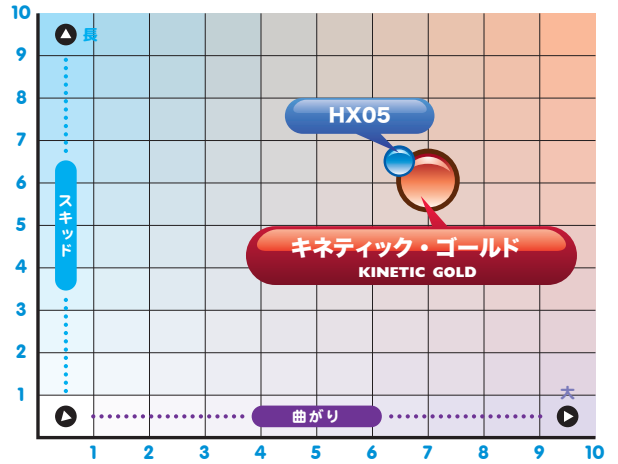
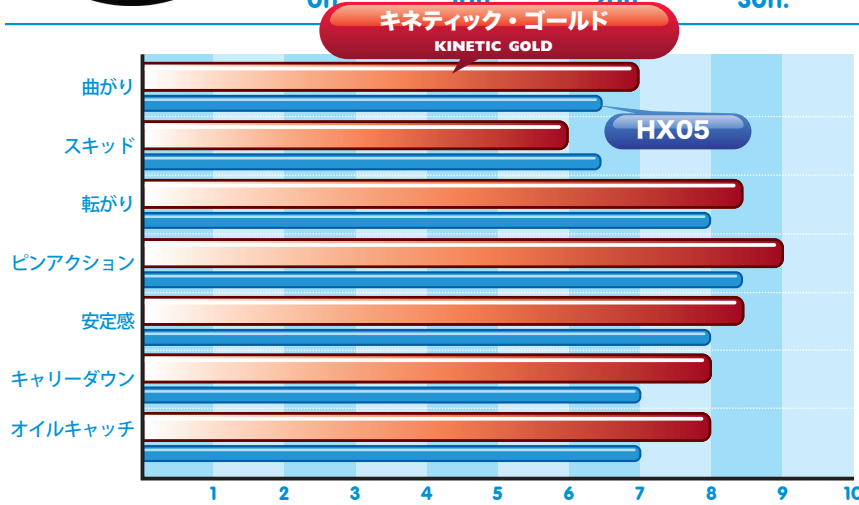
PAPからピンとの距離 インチ

5 インチ

4in1/2 MB



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ABS50周年を飾るTRACK社のGOLDモデルは、KINETICをかわきりに408C、505Cなどを排出し、ミディアムコンディションでこれ以上のものはないと思わせたKINETICのShuttle Coreで作られます。その中で私たちが求めた性能。それはKINETICをさらに上質に仕上げたKINETIC HybridをGOLDモデルとして発売することです。

GOLDモデルにすることで配色で現れるHybridカバーへの調整や、コアをModify前に戻すことでの再調整に吟味を重ね、自信を持ってこのKINETIC Hybridを発売できます。

TRACK社は505C2からShuttle CoreをModifyし、比重変更することで新たな領域のShuttle Coreの良さを作り上げました。しかし私たちABS開発チームはやや慣性を高くしたコアではなく、初代KINETICやKINETIC Hybridの特性をそのまま生かすことがABS50周年を飾るに相応しいボールであることを選択しました。現在ではコアはすべてModifyされたものに移り、KINETIC GOLDがこの数値のコアで作る最後の作品になります。コアの数値を戻すことで、あの独特のミッドエリアでの動きの柔らかさ、HookからRoll期に現れるフリップ上の切れ味がGOLDモデルに蘇ります。

私の中でのKINETICは箱出しのボックスフィニッシュでもやや曇らせた状態でも万能性は高く、これほど実用性の高いボールはあまり記憶がありません。

KINETICに魅了された人は多分私と同じ感想を持っていることでしょう。テストの段階で様々な加工を施し吟味しましたが、どの用途でも幅広いコンディションで使用できます。箱出しの状態でももう少しキャッチを望むのであればやや光沢を消すことでパフォーマンスは一気に上がります。

特記事項

TRACK社ABS50周年記念GOLDモデルはKINETIC GOLD。
ミディアムコンディションを制覇した代表的な性能で、この一つで万能性、実用性の高いボールです。